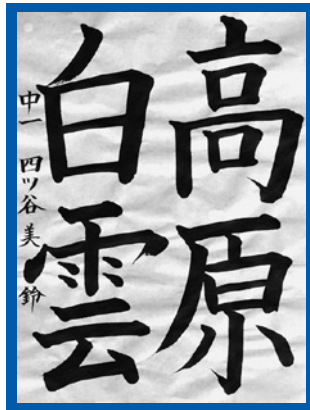


満1歳で～す！



仲谷 亮平さん(砂子又)の
次女 **依緒** ちゃん

わんつかひがしどおり



越善麻奈さん〔学校近くの景色〕

下北地方公民館連絡協議会が主催する第71回下北美術展（児童・生徒の部）にて、東通小学校・東通中学校からも33名の児童・生徒が入賞しました。このうち、特選・準特選に選ばれた方の氏名を紹介します。

◆絵画の部

《準特選》

鍋谷 莉央（東通中1年）

越善 麻奈（東通中3年）

◆書道の部

《特選》

四ツ谷 美鈴（東通中1年）



鍋谷莉央さん〔尻屋埼灯台〕

「お盆と花火」

小田野沢地区のお盆には墓参りで花火をする風習があります。日没を迎える頃、家族で墓地に出かけ、お墓に手を合わせた後に花火をします。打ち上げ花火や手持ち花火などをして、子供たちは楽しんでいました。

この風習は小田野沢地区以外に大間町や岩手県宮古市周辺でも行われ、全国的には長崎県が有名です。諸説あるようですが、長崎県は江戸時代から中国大陆の文化と関係が深く、悪を寄せ付けないとされるため爆竹や花火をしたといわれています。なお大間町では大正時代から行われたとされ、迎え火や送り火の代わりに花火を使ったのが始まりではないかと伝えられているようです。小田野沢地区にどのような経緯で伝わったのか詳細はわかりませんが、これまで続けられてきた先祖を敬う素晴らしいお盆の文化だと思います。

また花火には鎮魂という意味もあり、全国各地で夏に花火大会が行われています。お盆にお墓で花火をすることも子孫が楽しく過ごしている姿をみせ、帰ってきたご先祖様を明るく送り出す意味があると考えられます。昨年と今年はお盆に帰省できない方も多いと思いますが、離れた場所であっても故人を思い偲びながら花火をすることが供養の1つになるのではないのでしょうか。



「今昔物語」